

こんにちは
日本共産党
まさかず
いのくま正一
です

区政報告

No. 21

2002年8月

〒105-8511

日本共産党港区議員団

港区芝公園1-5-25

電話 357812945

FAX 357812947

メール jcp-inkg@na.rosenet.ne.jp

固定資産税の軽減にむけ質問

減免の継続、対象拡大など

(区民大会開催求める請願も審議) 共産党=採択し区民大会実施を

自民、公明、区民クラブ、かがやき=継続



街頭で訴える、いのくま正一(中央) 左は佐藤ふみのり氏、右はくぼた光氏

多くの区民の要求により、東京都が非住宅用地の固定資産税・2割減額を決めました。区民は大変喜んでいました。区民は大喜びでいます。しかし、減免期間を当面1年でなく、継続させること。400㎡以下の非住宅用地の対象枠を広げ、住宅用地にも拡大すること。などの問題点も残されています。3月定例議会では区議会として、国・都へ意見書を出しました。

区長も港区民の願い、固定資産税減額、改善に向け直接都知事に申入れるべきです。

区長は、2割減額について、「区民大会開催が減額の一つの要因であり、一部実現した」旨の発言をしています。ならば、減額の継続

区民大会は議会の様子を見て判断すると答えました。

党区議団は議長に対しても区民大会を開催するよう質問しました。議長は「各会派の意見を聞く中で判断したい」と答え、具体的に区民大会の開催が決まっています。区民からは「区民大会開催を求める請願」も昨年9月に出されています。常任委員会では、採択を主張しているのは共産党だけで、他会派は「継続」を主張し、区民の願いに答えようとしていません。

だれもが安心できる介護保険制度へ

保険料・利用料をさらに減免、貯金額300万円枠はずせ、など

- ① 介護保険の導入によって、サービスが有料化され、今までどおりの介護が受けられなくなったり、サービス自体をやめる方もいます。党区議団は、だれもが安心できる介護保険制度にするため、第二回定例区議会の代表質問でも、①被保険者の負担軽減のため、港区が国に負担を増やすよう要求すること。
 - ② ホームヘルプサービスの軽減策の継続を国に要求すること。
 - ③ 介護認定調査にあたって、家族状況等を判定に生かす、区独自に基準をつくること。
 - ④ 区で実施している保険料・利用料の軽減策を二三年度以降も継続させること。
 - ⑤ 軽減対象要件である預金三〇〇万円の限度額をなくすこと。
- などを要求しました。原田区長は、区民の実態をみることなく、冷たく拒否しています。

これ以上の住環境破壊は許せない

日本共産党衆院東京一区・国政対策委員長

佐藤 ふみのり

都市再生特別措置法に基づいて、港区内では虎ノ門・新橋周辺、赤坂・六本木地域などが「都市再生緊急整備地域」に決められました。

いままでの規制を大幅に緩和し、金融支援(税金投入)して大企業の超高層ビルの林立する街をつくらうという



これ以上の住環境破壊はゴメンというのが区民の思いではないでしょうか。私は、住環境を守りだれもが安心して住み続けられる都心区めざし、みなさんと一緒にがんばる決意です。

委員会所属がわかりました

▶常任委員会

▲総務 ▼ 沖島 えみ子

▲北村 利明

▲保健福祉 ▼ 藤田 五郎

▲風見 利男

▲建設 ▼ いのくま 正一

▲区民文教 ▼ 熊田 ちづ子

▲星野 喬

▲議会運営 ▼ いのくま 正一

▲風見 利男

▶特別委員会

▲自治権地方分権対策 ▼ ◎風見 利男

▲いのくま 正一

▲交通・環境対策 ▼ 星野 喬

▲防衛庁跡地等調査 ▼ 沖島 えみ子

▲藤田 五郎

▲熊田 ちづ子

▲北村 利明

◎は委員長

◎は副委員長

無料なんでも相談会 毎月第2木曜 18時～(株)きかんし。 第3木曜 18時30分～芝病院。 事前にご予約ください。

6月議会での議案審議と区議団の質問を紹介します

スポーツセンターの利用料金を値上げ

新プール棟が10月にオープンすることに伴い、施設が新しくなったからと個人利用料金を300円から400円に、30%も値上げする条例が自民党などの賛成多数で可決されました。

議会の審議では、「総合的に考えて値上げはやむを得ない」と港区民クラブ。公明党、自民党、みなとかがやきも値上げに賛成。

共産党区議団は、「値上げの算出根拠が明確でなく、区民の健康維持・増進を図るための利用料は値上げすべきでない」と反対をしました。

学校を訪問し調査、教育長に質問。「30人学級の実現を。全校に冷房設置を」、「教育予算の増額、図書館の蔵書充実を」など

学校5日制や、新学習指導要領の実施、総合学習がこの4月から始まり、「基礎的学力を身につけるための授業は大丈夫か」など、教師も児童・生徒も対応で大変です。

訪問した学校では「予算確保が大変」、「学校が雨漏りしている」、「教師の時間外勤務が多い、遅くまで残業している教師もあり、体を壊さな心配」、

「30人学級を是非進めてほしい」、等々たくさんの要望、意見が寄せられました。



運動会の玉入れ。いくつ入ったかな？

党区議団は、調査を元に「30人学級の実現」、「全校に冷房設置を」、「教育予算の増額」、「図書館の蔵書充実」、「学校施設等の耐震補強工事を」など実現のため本会議、区民文教委員会で質問しました。

「子ども達の教育予算は、何をにおいても確保するのが教育委員会ではないか」と私たちは考えています。

大平台みなと荘の使用料が値上げ。党区議団は反対

大平台みなと荘の使用料を、一部屋の利用人数に応じた料金体制に変更する条例が提出され、日本共産党以外の会派による賛成多数で可決されました。

今回の値上げは、一人で利用する場合は使用料5000円(他に食事代2500円)、2人～3人利用の場合4500円、4人～5人利用の場合はこれまで同様の4000円です。

大平台みなと荘は全てが定員5人の大部屋で少数で利用できる部屋は一つもありません。区は、区民の利用実態に合わない設計・建築をした責任を認めず、区民負担だけを押しつける姿勢です。

値上げ案を審議した区民常任委員会では、「以前より要望していたことが実現した」=港区民クラブ。「キャンセル料の設定などの検討を要望」=自民党。「利用の公平性から、やむを得ない」=公明党。「シーズン料金、土・日料金の設定、65才以上の年間2泊無料について再検討を」=かがやき。など区民負担を求めるひどい発言が相次ぎました。

都税や銀行の差押えから区民の財産守れ

質問区長 不当な差押えを金融機関の差押えは法令等に基づき適正。

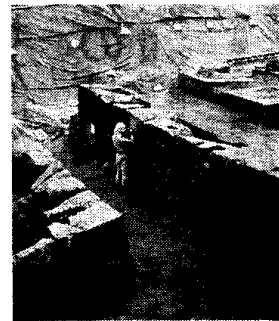
小泉内閣の進める不良債権処理により、倒産や廃業、土地やビルを取られるケースが増加しています。共通しているのは、テナント空きや賃料が下がることで固定資産税が払えず滞納、都税事務所から差し押さえ通知そして差し押さえ、同時に銀行が一括返済を要求。と言うものです。

差し押さえを回避しようと、サラ金などから借りて、そこからも督促がくる例もあります。都税と銀行が不良債権の取り合いをして、その合間をサラ金が暗躍しているのです。

区民の生活基盤を破壊するような差し押さえを安易に行わないよう、東京都と金融機関に対して区が申し入れするよう質問しました。

これに対して区長は、「徴収は、都税事務所が法令等に基づき、適正に行われている」、「金融機関における差し押さえも、融資契約や法令等に基づいている。申し入れの考えはない」と、区民の願いとかけ離れたひどい姿勢です。

- ①西武鉄道の計画を変更して発掘された石組みを保存・復元せよ。
- ②西武鉄道の責任で惣門の補修・保全、二天門、御成門の補修・保全を行うよう申し入れよ。
- ③西武鉄道の計画に、歴史ミニホール、芝公園にあった文化財を記させるなど、再度要請せよ。
- ④区民の要求に西武は答えず工



発掘された石組み

芝公園の緑と文化財を守れ 惣門から出土した文化遺産を復元し 国民に公開せよ

事だけが強行されている。文化財に対する具体的な約束をするまで、工事の凍結を申し入れよ。

区議会を傍聴して
私たちの請願(仮称・「T.T.S白金6丁目プロジェクト新築工事」見直しを求める)が建設委員会において満場一致で採択されました。ほっとした安堵感を感じながら、この場で崖の危険性を新たに認識しておきました。

各議員の方々の質問に対して、行政側の答弁という形で行われましたが、私たちが心配・懸念していることが次々に質問されるたび、不明瞭な答弁に終始し、行政の怠慢を思い知らされる場面もありました。こういう場では議員の方、一人一人の姿勢が良く見えてきます。入念に下調べをされて議会に臨まれていたり、区民の立場にたった上で港区全体の問題として捉えられている。など。

あの席にいと、選挙における一票の重さを痛感させられました。(白金六丁目在住 日さん)